

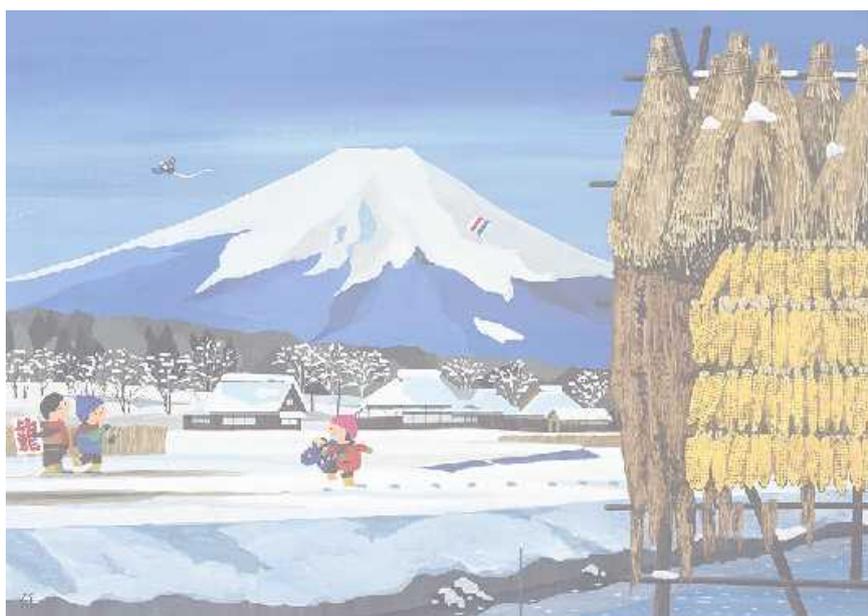
独自能力磨く「アセッサーフォローアップ研修会」第一回資料

卓越した業績(Performance Excellence)を目指して

—開倫塾が目指す、「価値」・「意味」・「秩序」とは何かを考える—

栃木県生産性本部

主催 栃木県経営品質協議会



2019年1月9日(水)15時～19時

会場 宇都宮卸商業団地協同組合会議室

講師 開倫塾 塾長 林明夫

「卓越した業績 (Performance Excellence)」を目指して
—開倫塾が目指す、「価値」・「意味」・「秩序」とは何かを考える—

開倫塾

塾長 林明夫

お読みやすいように QandA の形式で書かせて頂きます。

Q 1 : 開倫塾の事業概要は何ですか。

A :

(1) <開倫塾の歴史>…すべての企業には創業の歴史があります。

①開倫塾の創業は、1979年10月。創業者は林明夫。

*開倫塾は、栃木県足利市百頭町の2軒長屋の一角で創業。

*5年後、創業の地から現在の足利福居校に新築移転。(塾生増のため)

②株式会社開倫塾は、1984年10月31日に設立。

*現在の本社所在地は、〒326-8505 栃木県足利市堀込町145

*現在の払い込み資本金は、2億8000万円

③開倫塾日本語学校を、法務省から認可を頂き2018年8月に設立。

(2) <開倫塾の業務内容(1)…学習塾>

①開倫塾は、小学生・中学生・高校生を対象とする学習塾。

②「全塾生、第1志望校合格」と「全塾生、学校成績向上」「全塾生、4大検定合格」をめざす「本格的進学塾」。

*従来の「英語検定、漢字検定、数学検定」の「3大検定」に加え、2019年度から「日本語能力検定」を加え、「4大検定」とする。

③「セミナー指導」と「個別指導」の2つの形式で、「学習サービス」を提供。

*開倫塾は「サービス産業」。

④栃木県・群馬県・茨城県の北関東に61校舎と、東京の「川の手地区」に31校舎、合計92校舎を展開中。

⑤2018年度塾生数は、ピーク時7000名を超えた。

(3) <開倫塾の業務内容(2)…日本語教育サービス>

①「開倫塾日本語学校」は、日本での高等教育機関に進学を目指す留学生に対する「日本語教育サービス」を提供。

*2019年4月、10月に入学式を行う。

②来日し日本在住の小学生、中学生、高校生対して「教科・受験・日本語サポートコース」を開設。

*2019年度から開倫塾大泉校と本部校で開講。

③日本で就業する方々を対象に、「仕事・資格試験受験日本語サポートコース」を2019年度から開講。

④日本への短期留学を受け入れ。

*2019年4月から受け入れ開始。

⑤海外の教育機関とも積極的に提携、海外展開を積極的に行う。



Q 2 - 1 : <開倫塾の経営計画>…企業は「経営計画」に基づき、経営。

開倫塾の経営計画は何ですか。

A : 開倫塾には「長期経営計画」(9年間)に基づき「中期経営計画」(3年間)を策定、「短期経営計画」(1年間、四半期間、1か月間、週間、毎日の行動計画)にそれらをおとしこみ、すべての経営を行う。



Q 2 - 2 : <開倫塾の長期経営計画>

開倫塾の長期経営計画は何ですか。

A : (1) <「長期経営計画」の期間>

- ① 開倫塾は、2014年度から2022年度までの9年間の「長期経営計画」に基づき経営を行う。
- ② 本年度2019年度は、9年間の「長期経営計画」の5年目の「年度」。
*なお、開倫塾は、毎年4月から翌年3月までの1年間を「1年度」として、「年度制」となる。すべての経営を「年度制」で行う。
*開倫塾では原則「年号」を用いず、「西暦」で年度表示する。
- ③ この2014年度からスタートした9年間の「長期経営計画」は、2011年度から2013年度まで3年間かけて行った調査・研究に基づき策定。

(2) <「長期経営計画」策定の目的>

現在の「長期経営計画」の目的は、「2020年度からの教育大改革(大学入試改革と、学習指導要領改革)を迎え撃て」と、「3ヶタ校舎(100校舎突破)に耐えられるしくみづくり」。

- ① 大学の大量化・グローバル化、高大接続などに伴い、2020年度より、「大学入試改革」「高等教育改革」が大幅に加速。
*その中心は、「英語の4技能」(英語を「読み」、「聞き」、「話す」、「書く」)の、「同一配点」。英語を「話す」「書く」の技能の評価が新たに大学入試に加わる。
- ② また、2020年度より、「学習指導要領改革」が小・中・高校での教科内容が大幅変更(「新学習指導要領」)。
- ③ この2つの「教育大改革」の中心は、事前の「調べ学習」に基づく、「反転授業」・「アクティブラーニング」。
- ④ 2020年度からの「教育大改革」の背景となる基本能力は、「主体的に学ぶ能力」、「自己学習能力」です。この育成が、学習塾・予備校を含む全ての教育機関に求められる。
- ⑤ 開倫塾では、この「2020年度からの教育改革を迎え撃つ」を、「長期経営計画」の中心の目的・取り組みテーマとする。
- ⑥ これに加え、「規模拡大」と「新規事業への参入」、「3ヶタ校舎に耐えられるしくみづくり」を行うため、絶えざる「イノベーション」と「プロセスの標準化」、に取り組む。
- ⑦ この2014年度から2022年度までの9年間の「長期経営計画」は、2018年10月に「折り返し点」を迎える。
- ⑧ 本年度2019年度は「長期経営計画」の第5年目の年。これから4年間で開倫塾の「長期経営計画」を成し遂げる極めて重要な年度。



(3) <「次期長期経営計画」の策定>

- ① 次の「長期経営計画」の期間は、2023年度から2031年度までの9年間とする。
- ② そこで、2020年度から2022年度まで3年間をかけ、時期「長期経営計画」の具体案策定 (PLANn) し、2023年度に入った瞬間からその実現 (DO — CHECK — ACTION) に向け、開倫塾は全組織を挙げて、フル稼働をスタート。
*そこで、2019年度は、その「準備の準備」年度とする。
- ③ ところで、今から10年後の2029年10月は、開倫塾「創業50周年」を迎える。
- ④ そこで、2023年度からの9年間は、開倫塾は「本格的進学塾」として、「創業50周年」を迎えるにふさわしい「価値・意味・秩序」のある9年間を目指す。
- ⑤ 具体的には、塾生数1万名の「本格的進学塾」としての国際競争力を強化し、柔軟性と強靭性を兼ね備えた、地域に根差す「中堅企業」を、次の9年間は目指す。

Q2-3 : <開倫塾の中期経営計画>

開倫塾の「中期経営計画」は何ですか。

A : 2014年度からの9年間で、3年ごとに分け、第1期、第2期、第3期の「中期経営計画」を策定。



(1) 「第1期中期経営計画」

- ① 2014年度から2016年度までの3年間。
- ② 「長期経営計画の準備 (PLAN) の期間」と「定義」。
- ③ 調査・研究に基づき、立地調査、業態開発からスタートし、しくみづくり、人材育成システム構築等、様々な準備を行った。

(2) 「第2期中期経営計画」

- ① 2017年度から2019年度までの3か年。
- ② 「長期経営計画の実行 (DO) の期間」と「定義」。
- ③ この3年間を開倫塾の「第2創業」と「定義」。
- ④ 「新コースカリキュラムの開発」
- ⑤ 「新業態の開発」
- ⑥ 「既存事業の規模拡大」
- ⑦ 「新規事業への参入」



これらを実行することを決定、実行中。

(3) 「第3期中期経営計画」

- ① 2019年度から2021年度までの3か年。
- ② 「長期経営計画の検証 (CHECK) と修正 (ACTION) により第2創業の完成の期間」と「定義」。「本格的進学塾」としての実績と「中堅企業」としての実績を出す期間とする。
- ③ 2023年度から2031年度までの9か年の「次期長期経営計画 (Plan)」の策定の期間とする。
*現在の長期経営計画の「検証 (CHECK) と修正 (ACTION)」を同時に、次期の長期経営計画の「計画 (PLAN)」を同時に並行して行う。「守成」と「創業」という最も困難な作業を同時並行して行う、やりがいと希望、緊張感あふれる年間となる。

Q2-4 <開倫塾の「第2創業」>

開倫塾の「第2創業」とは何ですか。

A: ①「新コース・カリキュラム」と「新業態」の開発、②「規模拡大」と③「新規事業」の3つが、「第2創業」の内容。

(1)「新コースカリキュラム」と「新業態」の開発の中心は、「個別指導」への本格参入と、「映像授業」の本格的導入があります。

①セミナーと個別の併用(ハイブリット)校の機能を強化すると同時に、「個別指導専門校」を大幅に増加。

②遠隔授業による「英語を話す訓練」(EST)、「中学理社」や「ブロードバンド予備校」などの「映像授業」を2019年度より本格的に導入。

③これらに伴い、「業態変更」に積極的に挑戦。

(2)<「第2創業」としての新校舎開校>

「規模拡大」の中心は、「東京川の手地区への進出」。

①2017年4月に、茨城ブロックに真壁校を開校。

②2017年6月に、東京墨田ブロックに4校開校

③2017年11月に、東京荒川ブロックに5校開校

④2018年1月に、東京都荒川区に開倫塾東京本部を開校

⑤2018年2月に、東京葛飾ブロックに10校舎、墨田ブロックに1校舎開校

⑥2018年6月に、東京都足立ブロックに11校舎開校

⑦2018年10月に、栃木県足利市の足利本校をJR足利駅前に移転開校

*このように「第2創業」の規模拡大として、2017年4月から2018年10月までの1年半の短期間に、34拠点を新規開設。

(3)「新規事業」として「日本語教育サービス」に新規参入。

①日本の高等教育機関に進学を希望する留学生を対象とする「開倫塾日本語学校」を、2019年4月、開校。

②日本在住の外国から来られた、小学生・中学生・高校生を対象とする「教科・受検日本語コース」を、2019年1月に開講。

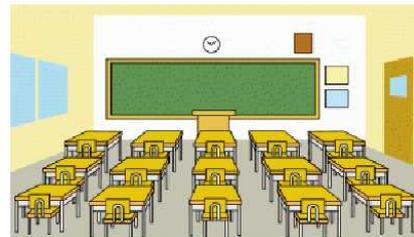
*開倫塾大泉校と本部校で、2019年1月から、スタート。

③日本在住の外国人就業者の皆様を対象に「仕事日本語、資格試験日本語コース」を、順次、開講。

④1~2週間の海外からの「短期留学コース」を、2019年4月からスタート。

⑤開倫塾は「日本語コース」を中心に、順次、国内外の提携先を開発、海外展開。

⑥政府の政策変更で、2019年度から増加すると予想される日本で働く外国人への日本語指導を担当する、「日本語の先生」育成コースを開講し、地域社会のニーズに応える。



<2029年の開倫塾創業50周年までに、アフリカ54か国で「開倫塾日本語コース」の開講を目指す。>

Q2-5 : <「第2創業」の目的・基本精神・あいことば>

開倫塾の「第2創業」の「目的」と、「基本精神」「あいことば」は何ですか。

- A : (1)開倫塾「第2創業」の「目的」は、開倫塾の教育目標である「自己学習能力の育成」「多様な選択肢のある人生を歩むことに貢献」「地域の教育力向上に貢献」する開倫塾を、国際競争力、柔軟性、強靱性、持続可能性を持つ「中堅企業」とすること。
- (2)開倫塾「第2創業」の「基本精神」は、たとえば「イノベーション」と、あくなき「プロセスの標準化」の取り組み。
- ①「イノベーション」とは「刷新」。様々なものを新しく結合（新結合）させ、今までにないあらたな世界を創り出す。
 - ②「イノベーション」の担い手は、「イノベーター」「企業家」。その精神は、「企業家精神」。
 - ③「第2創業」の期間中に、100校舎以上（3桁校舎）の運営に耐えられる「プロセスの標準化」にチャレンジ。
 - ④「バラツキ」や「異常値」「異常な状態」、更には「事件・事故」の発生を、事前に抑止する「ベストプラクティスの標準化」で、「高品質の教育サービス」の継続的提供を行うことが、「プロセスの標準化」。
- (3)開倫塾「第2創業のあいことば」は、3つ。
- ①その第1は、「**CHALLENGE**」（チャレンジ）。
*「失敗を恐れない」「失敗を責めない。但し、失敗から学ぶ」
 - ②その第2は、「**FAST**」（ファースト）。
*「**SPEED**」、「速さが第一」
 - ③その第3は、「**FORWARD LOOKING**」（フォワード・ルッキング）。
*「先を読み続ける」「段取り、八分」「万全の準備」
- (4)①第2創業の最大課題は、「コースカリキュラム開発」、「新業態開発」、「規模拡大」、「新規参入」などを担う「人材採用」と「能力強化」。
- ②開倫塾の全社員、ひとりひとりの社員の皆様の「新しい時代に対応するスキル向上」が欠かせない。
 - ③「人材の採用」と「人材育成」こそ「第2創業」の最重要課題。



Q3-1 : <開倫塾の、経営の「基本理念」>

開倫塾の「経営の基本理念」は何ですか。

- A : (1)開倫塾では、「経営とは、営みを経て、目的、目標を達成すること」と「定義」。
- ①「目的」とは「ゴール」、「到達点」、「目的地」。
 - ②「目標」とは、「ゴール」、「到達点」、「目的地」に至る、「通過点」「一里塚(マイルストーン)」。
 - ③「経営」とは、「営み」(様々な取り組み)を「経て」、「ゴール」「到達点」を目指して、様々な「目標」つまり「通過点」「一里塚」を、一つ一つ乗り越えていくこと。
- (2)①「基本理念」とは、開倫塾という「企業全体で共有する価値観」。
- ②開倫塾の「全社員が大切にしているものの考え方」。
 - ③企業経営の「目的」、「ゴール」「最終到達点」。
- (3)開倫塾の経営の「基本理念」は、4つ。

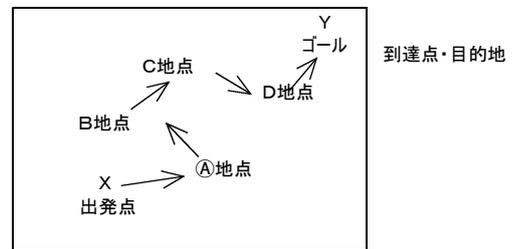
- ①「顧客本位」
- ②「独自能力」
- ③「社員重視」
- ④「社会との調和」

(4)①この「4つの基本理念」は、
「日本経営品質賞」が提案している経営の「基本理念」。

②開倫塾では、1998年度より「日本経営品質賞」に取り組む。

③2000年には、「日本経営品質賞」の地方版である「栃木県経営品質賞優秀賞」を受賞。2002年には同知事賞を受賞、2009年には「ハイサービス日本300選」を受賞。

*この4つの「経営の基本理念」を達成する試みが、開倫塾の「卓越した業績(Performance Excellence)」を目指す取り組み。



X地点からカーターとし、目的であるY地点まで到達する間に、
A地点→B地点→C地点→D地点を通過。

→目的地に達するために、各々の目標、通過点を達する営みが経営

Q3-2: <「基本理念」の第1、「顧客本位」>

開倫塾の「経営の基本理念」の第1番目、「顧客本位」とは何ですか。

A: (1)開倫塾では「顧客」を、「塾生」「保護者」「地域社会」の皆様と「定義」。

①開倫塾では、たとえ短期間でも「開倫塾で学ぶ人」は、すべて「塾生」と「定義」。

*「児童」「生徒」「学生」という言い方は用いない。

②開倫塾では、塾生の親権者を、「保護者」と「定義」。

*「父母」「父親」「母親」「両親」という言い方は用いない。

③開倫塾では、「地域社会(コミュニティ)の皆様」も、開倫塾をお支えくださる大切な皆様ですので、「顧客」と「定義」。



<ちょっと一休みです>

(1)開倫塾では、「塾生を教えている方、教えたことのある方」は「先生」と「定義」、すべて、尊敬を込めて、「先生」という敬称をつけて、およびする。

*「教師」「教員」といういい方は、開倫塾では、「一切」用いない。

(2)校舎の責任者はすべて「校長」、副責任者は「副校長」と「定義」。

*「教室長」「室長」といういい方は、用いない。

(3)開倫塾では、塾生を指導する場所は、すべて、「校舎」と「定義」。1つ1つの校舎を「開倫塾〇〇校」とよぶ。

*「開倫塾～教室」とはよばない。



(2) 「顧客本位」とは、ものごとを考え、判断するときには、いつも、「顧客」である、「塾生」「保護者」「地域社会」の皆様の立場に立って、考え、判断すること。

①塾生・保護者が開倫塾で学ぶ目的は何か。

②「第1志望校合格」と「学校成績向上」、「4大検定」、この3つの目的を実現するために、開倫塾は存在。

③開倫塾は、「全塾生、第1志望校合格」「全塾生、学校成績向上」「成功の実現」のため、全精力を傾注。

* 「開倫塾日本語教育サービス」の塾生もふくむ。

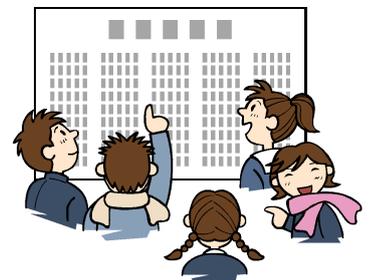
(3) 開倫塾では、「塾生が一番進学したい学校」を「第1志望校」と「定義」。

①これに加えて、開倫塾では、塾生が一番進学したい学校を、一人一人にとっての「一流校」と「定義」。

②開倫塾の目的は、「全塾生、第1志望校合格」「全塾生が、自分にとっての一流校合格」を果たすこと。

③この意味での、「本格的な進学塾」を開倫塾は目指す。

* 「開倫塾日本語コース」も「本格的な進学塾」を教育サービスの中心的内容とする。



Q3-3-1 : <「基本理念」の第2、独自能力>

開倫塾の「経営の基本理念」の第2、「独自能力」とは何ですか。

A : (1) 「独自能力」とは、「他社のまねではなく、開倫塾独自の考え方や方法で、問題・課題を発見し、一つ一つ、解決すること」と「定義」。

(2) ①「問題の発見」<独自能力発揮の手順(プロセス)>

* 何が問題か、問題の発見

②「原因の推定」

* なぜ、なぜ、なぜと、頭の芯が痛くなるくらい、問題の原因、本質を考える。

③「対策の策定」

③-1 「応急措置」

* とりあえずどうするか、短期的に「やりかたを変える」

③-2 「制度改革」

* システム変更、時間をかけ「しくみを変える」

(3) 「競合比較」

①はやっている「同業他社」と開倫塾を比較

②なぜはやっているかを考え、参考にさせて頂く

③「定点観測」

(4)-1 「ベストプラクティスのベンチマーキング」

①「社内のベストプラクティス」

②「同業他社のベストプラクティス」

③「異業種のベストプラクティス」

(4)-2

①この3つ「ベストプラクティスのベンチマーキング」を「しくみ」を整え、「経営課題」

ごとに「定期的」に行う。

②「ベンチマーキング」の成果を開倫塾全体で共有。

③「繁盛校」で「実験」（今まで行ったこととの誤差を検証）しながらデータ分析。

(4)－3

①開倫塾に合う形で試行導入、「プロセスの標準化」をすすめる。

②「マニュアル」を作成し、修正を繰り返しながら全面導入。

③ OFF JT と、ロールプレイングを含む OJT を用いた研修を徹底的に行う。

(5)「統計的手法の活用」。

(6)さまざまなものを新たに組み合わせ、結合させ（新結合）させ、今までにない、全く新たなものや、サービスを提供する「イノベーション」。

(7)新たに作り出したものやサービスを、バラツキや異常値を発生させることなく、提供しつけるために「プロセスの標準化」。

(8)PDCA を回し続ける。「創業と守成」を徹底してやり抜くことが「第 2 創業」における「独自能力」の発揮の真骨頂、要諦(ようたい)。

Q 3－3－2：「開倫塾の独自能力」として開倫塾の学習サービスとして独自なものは何ですか。

A：(1)「本格的進学塾」としての「自己学習能力の育成」。

(2)この実現のために、開倫塾では定期的に「個別面談」を次のステップで実施。＜個人面談のプロセスの標準化＞

①「第 1 希望校の明確化」を促す。

②「受験生としての自覚」を促す。

③基礎学力と、入試必須の学力を身に着けるためにね「受験全教科の受講」「各講習会・特別コースなどのすべての受講」を促す。

④「効果の上がる学習方法」を伝授。開倫塾で開発した「学習の 3 段階理論」を伝授。

⑤受験勉強で欠かせない「ハードな長時間自己学習能力」を促す。

⑥開倫塾の「自己学習スペース」を活用して、校長先生の指導の下に、夕刻から 10 時まで「ハードな長時間自己学習」を行うことを奨励。

⑦受験勉強の基礎となる「読解力」を身に着けるために、「辞書」「新聞」「本格的な読書」を毎日 30 分ずつ行うことを奨励。

⑧学年相応級以上の「英語検定」「漢字検定」「数学・算数検定」「日本語能力検定」の毎年取得を奨励。



Q3-4 : <「基本理念」の第3、「社員重視」>

開倫塾の基本理念の第3、「社員重視」とは何ですか。

A : (1) 「社員重視」とは、開倫塾をお支え下さる、社員の皆様の「人間としての尊厳」を、経営の第一と考えること。

- ① 「人間の尊厳」の重視が、開倫塾の「社員重視」の基本。
- ② 開倫塾のリーダーシップの基本は、「サーバントリーダーシップ」。リーダーの役割は、自分の担当する組織を強力にリードすると同時に、チームの全メンバーに寄り添い併走し、下支え・サポートすること。
- ③ 「サーバントリーダーシップ」により、「人間の尊厳」重視の開倫塾づくりを目指す。

(2) 「社員重視」の中心概念は「社員のエンパワーメント (EMPOWERMENT)」。

- ① 英語の、empowerment の2つの意味の具現化。
- ② 「能力強化」
- ③ 「権限移譲」

* 開倫塾では、「能力強化」がなされた社員各位に、「権限を徐々に委譲」。

(3) 開倫塾は「働き方改革」「人づくり改革」の先頭に立つ。

① 「健康経営推進企業」を目指す。

* 歯科を含む定期健康診断の徹底活用を奨励。産業医による「イエローカード」「レッドカード」指導。

* 「健康第一、心身の健康と身体の健康を大切に」が、開倫塾「健康経営」のあいことば。

② 「85歳過ぎまで働ける職場づくり」を目指す。

③ 「キャリア権推進企業」を目指す。

* 「キャリア教育」推進に励む。2019年より毎年、11月23日（勤労感謝の日）を、開倫塾「キャリア教育の日」とし、全国の志を同じくする方々とともに「キャリア教育」の推進する。

④ 社員と、これから教育サービスを目指す皆様の「キャリア形成」に役立つ、「エンパワーメント研修制度」を充実。

⑤ 開倫塾の行動目標である「働くに値する職場づくり」実現・深化。



Q3-5 : <「基本理念」の第4番、「社会との調和」>

開倫塾の「基本理念」の第4、「社会との調和」とは何ですか。

A : (1) 開倫塾は、「企業市民 (Corporate Citizenship, コーポレート・シチズンシップ)」としての責任、「企業としての社会的責任 (CSR, Corporate Social Responsibility, コーポレート・ソーシャル・リスポンズビリティ)」を果たしながら、教育サービスを提供する企業を目指す。

(2) 開倫塾は、「法令順守」に徹する。

(3) 開倫塾は、「企業としての社会貢献活動」を推進。

① 「開倫ユネスコ協会」の活動の全面支援

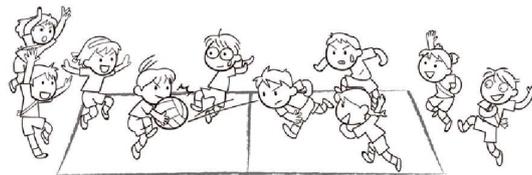
* 開倫塾のすべての校舎で「開倫塾ユネスコ学校」を開校、ユネスコが掲げる平和の精神(心の中に平和の砦を築こう)と教育・科学・文化・コミュニケーションを推進普及。

② NGO/NPO 活動の支援。

③ 栃木刑務所に先生を派遣し、受刑者の学習支援。

④オフィシャルスポーツとして、ドッジボール大会の支援。

* 2019 年には、第 20 回開倫杯ドッジボール大会
国際親善大会を、4 月 6 日（土）7 日（日）に前
橋市のアルソック群馬アリーナで、群馬県ドッジ
ボール協会の皆様とともに開催。福島県、茨城県、
栃木県でのドッジボール大会の開催を各県ドッジボール協会の皆様と協力して支援。



⑤オフィシャル芸術活動として、「開倫ユネスコ学校」と共催で「100 万人のクラシックライヴ」と協力し、開倫塾全校舎で「開倫塾創立 40 周年記念 1 万人ライブ・コンサート」を無料で開催。2018 年 2 月～2019 年 10 月にクラシックライブコンサートを 100 回開催。

* 2019 年 11 月から 2010 年 10 月まで、開倫塾全校舎を中心に「開倫塾創業 41 周年記念 1 万人クラシックライブ・コンサート」を 100 回開催。

* 2029 年まで、開倫塾の全校舎で毎年 1 回、「開倫塾創業〇〇周年記念クラシックライブ・コンサート」を開催。

* 2029 年の創業 50 周年 10 月の創立記念日に、「創業 50 周年記念」の「本格的コンサート」50 年にわたりお世話になった社員各位や、皆様をお招きして開催することを目指す。

⑥国内外の学校や大学での出張授業。

⑦学校の先生の研修生としての受け入れ。

⑧全国の学習塾・予備校・学校の先生方の教え方のスキルアップを目指す「全国模擬授業大会」を、毎年、5 月最終日曜日に足利市の高校をお借りして開催。

* 2019 年は、5 月 26 日（日）に、白鷗大学足利高校 JR 足利駅前校をお借りし、「第 14 回全国模擬授業大会」を開催。

* 14 回大会では、「第 1 回 NIE(新聞を教育へ) 全国模擬授業大会」も同時開催。

* 「全国日本語教育模擬授業大会」も別日程で開催する。

⑨「開倫研究所 (KAIRIN INSTITUTE)」。調査・研究・政策提言を目指すシンクタンクを、2019 年度から装いを新たにして発足。「高等教育政策研究」「北関東の研究」「移民研究」。「開倫師範学校」「開倫 MOT 講座」も体制を整え、2029 年度までに本格スタート。

⑩開倫塾は、社会的課題の発見と解決を果たす「社会的企業 (Social Enterprise, ソーシャル・エンタープライズ)」を目指す。

Q 4 : <開倫塾の経営方針>

開倫塾の「経営方針」は何ですか。

A : 3 つある。

(1) 「学ぶに値する塾づくり」

①開倫塾は「教え方日本一」の「本格的進学塾」を目指す。

②レクソプランに基づく毎日の授業の設計、リフレクション(省察)。

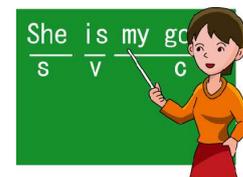
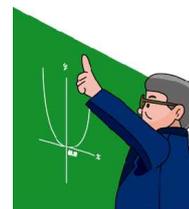
③模擬授業を活用した授業スキルの向上

(2) 「働くに値する職場づくり」

①開倫塾の絶対的禁止事項

・「セクシズム」性による差別

・「エイジズム」年齢による差別



・「レイシズム」出身による差別

②「働き方革命」

③「人づくり革命」

*開倫塾は②③の最先端企業を目指す。

(3)「倒産しない会社づくり」

*「企業は原則倒産」「校舎は原則閉鎖」という基本認識に基づき、「倒産しない会社づくり」「閉鎖に追い込まれない校舎づくり」

①「四半期決算」の本格活用

*2011年度から本格導入、2019年度で9年目を迎える。

②「財務会計」の活用

③「管理会計」への挑戦

④「統合報告書」への挑戦

*IR, Integrated Reportingの策定と本格的に取り組む。

⑤「覆面調査」の活用

⑥「内部監査」の活用

⑦「外部専門家」のアドバイス活用

*会計士、税理士、弁護士、社会保険労務士、顧問委、経営コンサルタント、学習塾顧問、金融機関、シンクタンクなどの、「外部専門家」の先生方から経営諮問機関として、定期的に貴重なアドバイス、ご意見を頂い

ておりますので、最大限経営に生かし、経営基盤の強化を図り、「倒産しない会社づくり」「閉鎖に追い込まれない校舎づくり」を目指す。

⑧「5Sインストラクター」はじめ内部エキスパートの育成

⑨地域の教育と文化、経済を下支える「中堅企業」としてのしくみづくりが開倫塾の最終目的。



Q5：＜開倫塾の3大業務＞

「開倫塾の3大業務」とは何ですか。

A：「開倫塾の3大業務」は次の3つ。

(1)「教育業務」

・「教育業務」とは、教えることのすべて。

(2)「募集業務」

・「募集業務」とは、「塾生募集」。

①「募集業務なくして教育業務なし」

②いくら教えたくても、目の前に塾生がいなくては、教えることはできない。

③塾生はいても、塾生数が少なければ、また、客単価が低ければ、経営が成り立たない。

*2019年度に何が何でも、塾生確保が求められる。2019年10月には消費税10%増税が予定されており、増税後は、大幅な消費減が予想されているため、2019年度塾生募集は、2019年1月からスタートする。2019年9月までにすべてクロージングすることを目指す。

(3)「基本業務」



- ・「基本業務」とは、「教育業務」と「募集業務」以外のすべての業務を、意味する。
- ・開倫塾は、開倫塾独自のシステム開発に挑戦し続ける。

Q 6 : <開倫塾の「行動指針」>

開倫塾の「行動指針」とは何ですか。

A : 「価値・意味・秩序」の3つ。

(1) 「価値」

*一つ一つの業務ごとの、大切さ、価値とは何かを考えること。

*開倫塾の、教育内容、業務内容のすべてには、価値がある。一つ一つの価値、大切さを、十分に理解・納得した上で、行動することが求められる。

(2) 「意味」

*業務を行うときには、その「価値」「大切さ」を理解したうえで、自分にとっての「意味」を考えること。その上で、自分にとっての「意味付け」をおこない、「他人事」ではなく、「自分事」として行うことが大切。

(3) 「秩序」

*「価値」を十分に理解し、自分なりの「意味付け」行ったらうえでどうするか。行うべきこと、「やらないこと」を、自分の力で決定、「自己決定」し、「秩序」だった行動をすること。

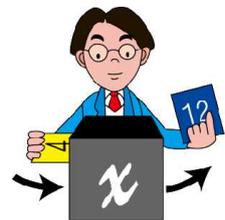
(4)開倫塾では、この、「価値」「意味」「秩序」を、すべての業務遂行をする際の大切な「行動指針」。

*開倫塾で求められる基本的能力は「価値」「意味」「秩序」を踏まえた上で「高い志」に基づき「開倫塾の社会的使命」を遂行する「自律的な行動をする能力」

Q 7 - 1 : <開倫塾の「行動目標」>

開倫塾の「行動目標」は何ですか。

A : 「教え方日本一」と「塾生数北関東一、東京川の手地区一」。



Q 7 - 2 : 「教え方日本一」の具体的取り組みは何ですか。

A : (1) 「レスンプラン」に基づいた「授業計画」と毎時間の(Reflection, リフレクション)と「振り返り」「省察」

(2) 「模擬授業」を活用した「授業の仕方」の改善

(3) 「全国模擬授業」への参加と活用

Q 7 - 3 : 「塾生数北関東一」「東京川の手地区一」への具体的取り組みは何ですか。

A : (1) まずは、栃木県・群馬県・茨城県の既存 61 校舎の「再活性化(Revitalization, リバイタライゼーション)」による塾生数大幅増が第 1。

(2) 2019 年度に 2 年目に入る東京本部 31 校舎の本格稼働による大幅塾生増が第 2。

(3) 北関東の開倫塾空白地域、東京川の手地区の開倫塾空白地域(江戸川・江東区・台東区、北の各ブロック)での開校が第 3 です。

* 2019 年度の年初から万全の準備を整え、機が熟し次第、除々に開校をスタート。

Q 8 - 1 : <開倫塾の教育目標>

開倫塾の「教育目標」は何ですか。

- A : (1) 「高い倫理」
(2) 「高い学力」
(3) 「高い国際理解」
(4) 「自己学習能力の育成」 この 4 つ。



Q 8 - 2 : 「高い倫理」とは何ですか。

A : (1) ①現代は「課題山積の社会」。

- ②例えば、2030 年までに、日本のみならず、地球全体で解決しなければならない課題として、国連は、DGs(サステナブル・デベロプメント・ゴールズ)として 17 項目を、提案。

- ③これらの課題解決のための第 1 歩は、何が地域や日本、世界で起きているのか、その現状を知ること。

(2) ①開倫塾では 1979 年の創業以来、「新聞を教育へ (NIE、Newspaper In Education)」の取り組みを行っている。

- ②新聞を毎日読み、スクラップブックを作り、自分で考える力、批判的思考(クリティカル・シンキング)能力を身に着けることを奨励します。

- ③新聞記者の皆様を講師としてお招きし、「新聞ができるまで」の講演会を開催。

- ④スクラップブックコンテストを実施。

(3) ①毎年、11 月第 3 木曜日、ユネスコの「世界哲学の日」には、「今哲学しよう、価値・意味・秩序」講演会を、2011 年以来、開催。

- ② 2016 年は国連大学エリザベスローズ国際会議場で、2017 年、2018 年は、日本工業倶楽部で開催。

(4) ①「課題山積社会」求められるのは、「高い志」を持ち、自分自身を律しながら行動する、「自律的に活動する能力」と考る。

- ②「開倫塾」の塾名の「倫」は、「倫理」の「倫」。

- ③「高い倫理」を目指し、塾名として名付けた。



S

Q 8 - 3 : <「高い学力」>

「高い学力」とは何ですか。

A : (1) ①現代は、知識が基盤になった社会、「知識基盤社会 (ナレッジ・ベースト・ソサイアティ、Knowledge Based Society)」。

- ②「知識基盤社会」で求められるのは、「知識・情報・情報を相互作用的に用いる能力」。

- ③開倫塾の「教育目標」の第 2 に掲げた「高い学力」とは、「知識基盤社会」で求められる、「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」。

(2) ① 2020 年度からの「教育大改革」の中心となる学力観、「学力とは何か」は、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」。



②開倫塾の「高い学力」とは、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」。

③開倫塾は、「主体的に学ぶ力」を育て、2020年からの教育大改革を迎え撃つ。

(3)①「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」を身に着けるうえで、数学、理科の知識に基づく、パソコンのスキルと、論理的・分析的思考能力は欠かせない。

②開倫塾では、小学1年生から高校3年生、難関大学入試を突破できるまで、数学・理科の指導。

③小学1年生から、高校3年生まで、学年相応級以上の数学検定・算数検定、全塾生取得を目指し指導。

(4)開倫塾では塾生である間に「5S」を身に着け、知識基盤社会で活躍する基礎を築くことを奨励。全校舎で「開倫5S学校」を開設。

①「整理 (seiri)」 「いないものは捨てる」

②「清掃 (seisou)」 「きれいに掃除をする」

③「整頓 (seiton)」 「ものは同じ場所に置く」

④「清潔 (seiketsu)」 「①～③を継続する」

⑤「躰 (shitsuke)」 「自分から進んで行く」



(5)開倫塾では、別の意味の「躰 (しつけ) 教育」も「開倫塾の躰プログラム」として行っています。

①「美しい立ち居振る舞い(たちいふるまい)」

②「美しいことば遣い(づかい)」(敬語表現を含むことば遣い)

③「元気なあいさつ」



Q8-4 : <高い国際理解>

「高い国際理解」とは何ですか。

A : (1)①現代は「グローバル社会」。

②「グローバル社会」で求められる能力は、国、民族、言語、歴史、文化、宗教、価値観、生活習慣などを異にする「多様な集団で交流する能力」。

③この基礎となるのが、開倫塾の教育目標の第3の、「高い国際理解」。

(2)①「高い国際理解」のためには、日本の言語である国語、日本や世界の地理・歴史・政治・経済・社会の勉強を踏まえたうえで、世界の共通語である英語を身に着けることが、不可欠。

②開倫塾では、「本格的進学塾」として英語・国語・社会を定期試験レベルから難関校入試レベルまで徹底指導。

③漢字検定、英語検定は、1979年の創業以来、奨励・指導。毎年1000名単位で、合格者を輩出。

(3)①2019年度から、英語の4技能に対応する「EST(English Speaking Training)」を本格導入。

②社会・理科は最先端の映像授業を導入。

③グローバル化に対応する「高い国際理解」と本格的に対応。

(4)2019 年度から、開倫塾は外国のための「日本語教育サービス」に本格参入し、「高い国際理解」を促進。

- ①開倫塾日本語学校
- ②教科・受検日本語学習サポートコース
- ③開倫塾日本語学習コース（就業者用）
- ④足利への短期留学
- ⑤海外提携校での日本語指導等を、どんどんスタート。
- ⑥日本語の先生の育成も積極的に行う。



Q9：＜開倫塾の社会的使命、ミッション＞

開倫塾の「社会的使命」「ミッション」「存在意義」は何ですか。

＊開倫塾は、何のために存在するのか、その社会的使命、ミッションは何か。

A：(1)その第1は、塾生の「成功の実現」に貢献すること。

- ①開倫塾では、「学力」を、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」と「定義」。
- ②「自己学習能力の育成」を教育目標とする。
- ③「主体的に学ぶ力」「自己学習能力」を身に着けることは、「多様な選択肢のある人生を歩むこと」、「人生の成功」に結びつく。
- ④「よく生きること」に役立つと考える。

(2)その第2は、「地域の教育力の向上」に役立つこと。

- ①「正常に機能する社会の形成」
- ②「持続可能な社会の形成」
- ③このためには、「主体的に学ぶ力」、「自己学習能力」を身に着けることが、社会のメンバーに求められる。

(3)①開倫塾の発展は、塾生の「成功の実現」と、「地域の教育力向上」に直結。

- ②このような、開倫塾を目指し、2019 年も、塾生、保護者、地域社会、ビジネスパートナー、そして何よりも社員の皆様とともに、理想に燃えた、開倫塾づくりを行う。
- ③ 2019 年度は、開倫塾「第2創業」の3年目、総仕上げの年。「全塾生、第1志望校合格」「全塾生、学校成績大幅向上」を実現する「本格的進学塾」としての「社会的使命」を果たしたい。

以上をを成し遂げる取り組みこそが、

「卓越した業績 (Performance Excellence)」を目指した開倫塾の、イノベーション、挑戦。

(2018 年 12 月 25 日 22 時 30 分)
(2019 年 1 月 7 日 11 時 35 分改訂)